

フィッチによるフィリピンの格上げについて

大和証券投資信託委託株式会社

フィッチ・レーティングス社(フィッチ)は6月23日、フィリピンの自国通貨建て長期発行体デフォルト格付けを「BB+」から投資適格級の「BBB-」へ、外貨建て長期発行体デフォルト格付けを「BB」から「BB+」に引き上げました。なお、格付け見通しは「安定的」としています。

フィッチは格上げの理由として、経済の見通しがおおむね良好で、対外的な支払い能力も強化されている中、アキノ政権による財政再建が着実に進行していることを挙げています。

フィリピンの格付けは、6月15日にもムーディーズ・インベスターズ・サービス社(ムーディーズ)によって、自国通貨建て・外貨建て長期債務格付けが「Ba3」から「Ba2」に引き上げられたばかりでした。ムーディーズも格上げの理由として、アキノ大統領による財政再建の進行とマクロ経済の持続的な安定性を挙げており、アロヨ前政権からアキノ政権へ政権交代が行われたことで、財政拡張政策から財政再建策へ政策方針が大きく転換したことがうかがえます。

また、スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P)も、2010年11月に外貨建て長期発行体格付けを「BB-」から「BB」へ引き上げており、格付け見通しは「安定的」としています。

各格付会社のフィリピン長期債務格付け(6月24日現在)

	自国通貨建て	外貨建て	見通し
フィッチ	BBB-	BB+	安定的
ムーディーズ	Ba2	Ba2	安定的
S&P	BB+	BB	安定的

(出所)各種データを基に大和投資信託作成

フィッチは、フィリピンの2011年の財政赤字を対GDP(国内総生産)比で3%と見積もっており、2010年の同3.7%から改善するとしています。財政収入については2011年に入ってから大きく増加しており、これは経済の高成長によるものだけではなく、アキノ政権による税制改革が早い時期から効果を発揮しているものであると、フィッチは評価しています。

また、フィッチは、政府債務について2009年末の対GDP比57%から、2013年末までには同50%まで削減されると見込んでいます。

フィリピンの2010年のGDP成長率は7.3%と高成長を記録しているものの、依然一人当たりの所得収入や国内への資本投資の対GDP比は決して高いとはいえません。これに対し、アキノ政権は官民一体となったインフラ整備を進める計画を有しており、こうしたインフラ整備が海外からのさらなる投資資本を呼び込み、一人当たりの所得収入も高まると期待されています。

堅調な経済成長や財政再建の進行を背景に、今後もフィリピンのさらなる信用力の改善が期待されます。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会